

2008年4月18日

各位

ホソカワミクロン株式会社

大阪府枚方市招提田近1-9

社長 細川 益男

東証・大証 1部 6277

ホソカワ アルピネ社(ドイツ)の新工場建設 第1期工事 完成

— 粉体技術の基盤強化とともに“ナノマテリアル事業”展開の欧州拠点に —

・第1期工事竣工

先端的かつ高付加価値の優秀な粉体技術の開発を目指すホソカワミクロングループの欧州拠点、ホソカワアルピネ AG.において、この度、昨年3月に着工した新工場建設工事の第1期工事が竣工し、来る4月21日(月)、アウグスブルグ市長、商工会議所副会頭、等の来賓を迎えて盛大に祝賀会を催すことになりました。

この第1期工事では、化学、ミネラル、医薬、食品、プラスチック薄膜製造機器といった事業別最終組立てライン、仕上げ、検査、出荷関係の建屋・設備が完成したもので、引き続き、当初の目的である製造プロセスフローの改善による生産性の向上を目的とした高度な機械加工技術・機能を有する第2期建設工事が開始され、**本年末に完成**の予定です。

・“ナノマテリアル事業”の欧州拠点

当社は、1916年(大正5年)創業以来、粉体技術の開発に取り組み、常に最先端の粉体関連装置とエンジニアリングの提供を目指しておりますが、近年になって、ナノレベルの粉体技術の開発のなかから当社独自の**機能性ナノ複合粒子製造装置**が生まれ、また、その装置によってこれまで世の中になかった新しい物性を有するナノ複合粒子(**ナノコンポジット**)を作り出せるようになりました。

今回のアルピネ社での新工場建設工事は、これまでの機械装置事業の強化とともに、この**“ナノマテリアル事業”**の欧州拠点ともなるものです。

(ECO 貢献企業)

新工場の屋根には、2,500m²の太陽電池(発電量:年間約25万 kWh/年)が取り付けられており、発電された電力は外部の電力会社に売電され、そこで得られた収益は、従業員の福利厚生に使われることになっています。

(御参考) ドイツの再生可能エネルギー法(2,000年施行):電力会社は、20年間、火力発電よりも割高な固定価格で再生エネルギー電力を買取る義務があります。

【会社概要】

会社名 : Hosokawa Alpine AG. (アウグスブルグ市、ドイツ)

社長 : Peter Krieg

創業 : 1898年(本年創業110年)

資本金 : 12,900,000ユーロ(約19億円)

従業員:530名

総面積:約 55,000 m²

- ・ 本年、創業 110 年を迎えるドイツの総合的粉体技術の名門で、微粒子領域における乾式、湿式粉碎機や分級装置技術を得意とするホソカワグループのヨーロッパにおける中核企業であり、また、プラスチック薄膜製造装置の分野でも 50 年を超える歴史を持ち、同分野で世界有数の地位を占めています。

(注) 1987 年(昭和 62 年)、弊社が友好的買収によってグループ化。

【工場建設目的】

- ・ 優秀な粉体技術を提供するホソカワミクロングループの欧州トップ企業として、老朽化した工場・設備(築約 80 年)を一新し、生産性および収益性の大幅な向上を図るとともに、新たな“ナノマテリアル事業”の欧州での拠点として、その市場基盤とブランド力を維持、向上させます。

【総設備投資額】

約 30 億円(工場建屋:約 28 億円、機器設備:約 2 億円)

【スケジュール(予定)】

第一期工事 2007 年 3 月着工、2008 年 4 月完了

第二期工事 2008 年 4 月着工、2008 年 12 月完了予定

【新工場概要(主たる用途)】

第一期 機器/稼動部品テスト、塗装、最終組立、出荷・物流

(敷地面積:7,100 m²、フロア面積:9,500 m²)

第二期 用途:機械・シートメタル加工

(敷地面積:4,000 m²、フロア面積:5,200 m²)

合計 敷地面積:11,100 m²、フロア面積:14,700 m²

(御参考) 現、製造工場全敷地面積:15,600 m²(既設工場部分含む)

⇒第 1 期および第 2 期工事完了後、総敷地面積:18,400 m²(既設工場部分含む)

以上、お知らせいたします。(次ページに写真)

<ホソカワアルピネ AG 第1期工事完成写真 ー太陽光発電装置ー>



以上